# TWO FACES
NISHIKANAZAWA STATION

## 西金沢駅周辺整備の概要

- ●松島西金沢線（駅西アクセス道路）
  L=250m、W=16m
- ●米泉町 10 丁目線
  L=350m、W=14m
- ●高架側道７号線
  L=360m、W=8.5m
- ●駅西広場
  A= 約 3,800 ㎡（駐輪場 200 台含む）
  シェルター
  W=2.5m、H=2.6m、A= 約 300 ㎡
- ●駅東広場
  A= 約 3,200 ㎡（① 約 1,300 ㎡、② 約 1,900 ㎡）
  シェルター
  W=2.5m、H=2.6m、A= 約 240 ㎡
- ●自由通路
  L=45m（階段除く）、通路幅 5m
  階段４箇所、エレベーター２基
  ※JR 橋上駅舎（２F）　A= 約 220 ㎡
- ●西金沢駅西口公園
  A= 約 1,400 ㎡

## ● 事業の経緯

| | | ［市事業］ | ［周辺の動向］ |
|---|---|---|---|
| 1998 年 | 平成10年度 | 西金沢駅周辺まちづくり協議会による<br>基本計画策定 | |
| 2003 年 | 平成15年度 | 駅東広場 一部完成<br>（石川線以南のバス乗降場・タクシー乗り場） | |
| 2005 年 | 平成17年度 | 西金沢駅周辺整備 事業着手<br>（調査・設計等） | |
| 2008 年 | 平成20年度 | | JT 金沢工場の閉鎖発表 |
| 2009 年 | 平成21年度 | 都市計画決定最終変更<br>（駅東広場・駅西広場・松島西金沢線） | |
| 2011 年 | 平成23年度 | 橋上駅舎・自由通路（一部除く） 供用開始<br>駅西広場駐輪場　供用開始 | 新幹線高架工事の着手 |
| 2012 年 | 平成24年度 | 自由通路（全部） 供用開始<br>西金沢駅西口公園　供用開始 | |
| 2013 年 | 平成25年度 | 都市計画決定<br>（米泉町 10 丁目線・高架側道 7 号線） | |
| 2014 年 | 平成26年度 | 駅東広場・駅西広場・松島西金沢線　供用開始<br>米泉町 10 丁目線・高架側道 7 号線　完成 | 民間開発事業（JT 金沢工場跡地）<br>伏見川グラウンドの整備 |


● 問い合わせ先

**金沢市都市整備局 都市計画課**

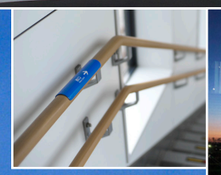
〒920-8577　金沢市広坂1丁目1番1号
TEL：076-220-2351　FAX：076-222-5119
E-mail：tokei@city.kanazawa.lg.jp


H27.2

# 生まれ変わった 西金沢駅

## 西金沢駅周辺整備事業

**東と西、２つの顔を持つ 新しい玄関口へ**



TWO FACES
NISHIKANAZAWA STATION

# West Entrance

## 新たな人の流れを生む交流拠点へ

### 駅西口エリアの新設

駅西口の新設、駅へのアクセス道路の整備により、
鉄道西側エリアの利便性が飛躍的に向上しました。
バス・タクシー・自転車との連携により、
新たな交通結節点が誕生しました。

**憩いの空間を整備**

地域と調和した憩いの空間として
新たに駅西口に公園を整備しました。

**200 台の駐輪場**

サイクル＆ライドの利便性を高めます。

**駅西口へのアクセス道路**

駅へつながるアクセス道路が整備され、
歩行者・自転車・クルマ共に安全で
スムーズな通行が可能となります。

**駅東西をつなぐ自由通路**

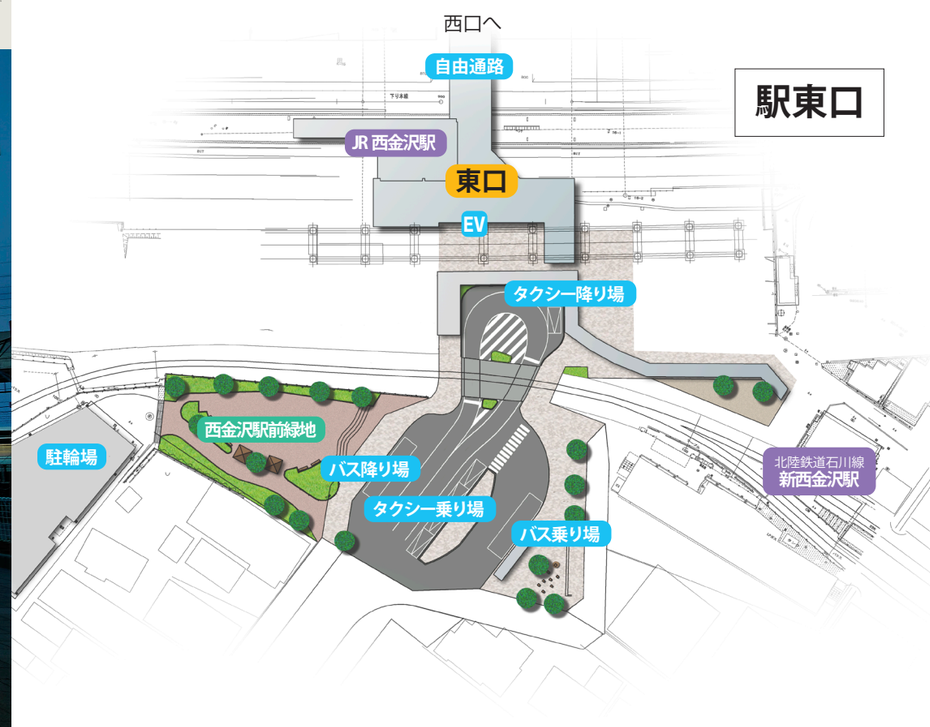
自由通路により
駅の東西がつながり、
生活圏が大きく広がりました。
夜間でも安心して
通行できる連絡橋です。

# East Entrance

## 広域的で快適な都市空間へ

### 西口・東口が連結

西口とつながることで再整備された
東口のバス・電車を活用できるエリアが
大きく広がりました。
広場や構内はバリアフリー化され
歩行者にもやさしい空間となっています。



**雨天・夜間に安心のシェルター**

東口と新西金沢駅との間には
シェルターを設置し、
歩行者が快適に移動できるように
なりました。

**バスアクセスの向上**

駅の東西にバス乗降場を整備し、
バスの利便性が高まりました。